



## 2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 東  
 コード番号 6662 URL <https://www.ubiteq.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荒木 克彦  
 問合せ先責任者 (役職名)グループ管理部長 (氏名)手塚 佑介 (TEL)03(5447)6731  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第3四半期の連結業績(2018年7月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	1,447	△8.3	119	5.1	120	4.2	86	△25.2
2018年6月期第3四半期	1,579	△5.2	113	3.1	115	16.4	115	57.8

(注) 包括利益 2019年6月期第3四半期 90百万円(△22.1%) 2018年6月期第3四半期 116百万円(36.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年6月期第3四半期	5	91	5	90
2018年6月期第3四半期	7	90	7	85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	3,665	3,307	89.0
2018年6月期	3,738	3,260	86.0

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 3,261百万円 2018年6月期 3,216百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年6月期	—	0 00	—	3 00	3 00	
2019年6月期	—	0 00	—	—	—	
2019年6月期(予想)	—	—	—	3 00	3 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日~2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,152	2.9	136	3.3	136	1.9	102	△26.7	6	98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年6月期3Q	14,791,600株	2018年6月期	14,789,600株
2019年6月期3Q	161,100株	2018年6月期	161,200株
2019年6月期3Q	14,629,814株	2018年6月期3Q	14,609,705株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式数については、ESOP信託が所有する当社株式 (2019年6月期3Q : 161,100株、2018年6月期 : 161,200株) を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響による海外経済の不確実性等の懸念材料はあるものの、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループはIoT技術、AI技術を活用し、お客様の経営資源活用における最適化を目指し、次世代のカーソリューション、工場設備稼働の見える化、バイタルセンサーを利用した安全・衛生管理システムをはじめ各種開発業務や製品展開に注力してまいりました。2018年11月には幕張メッセで開催された「第4回IoT/M2M展」に出展し、自社製品である働き方改革支援ツール「Next Work」及び工場設備リアルタイム監視システム「D-COLLECT」の認知度の向上に努めてまいりました。さらに2019年2月には既存の会議室管理サービスをリニューアルした「ROOM CONCIER（ルームコンシェル）」の販売を開始しており、自社製品ラインアップの拡充に努めたほか、当社のIoT技術を体験できるデモルームをユビテック本社内にオープンしました。

また、減少傾向にある売上高の回復を期し、2018年8月に営業・開発部門における組織体制の見直しを実施しており、加えてオリックスグループとの連携強化策も継続して推進していくことで、お客様のニーズにより迅速・的確に対応してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,447百万円（前年同四半期比8.3%減少）、営業利益は119百万円（前年同四半期比5.1%増加）、経常利益は120百万円（前年同四半期比4.2%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年第2四半期に計上した新株予約権戻入益がなくなったことにより、86百万円（前年同四半期比25.2%減少）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### IoT事業

IoT事業は、カーシェア車載機の受注は増加傾向にありますが、テレマティクス車載機の落ち込みの影響が大きく、売上高は前年同四半期比で減収となりました。セグメント利益は売上構成の変化に伴い利益率が上昇し、前年同四半期比で増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は450百万円（前年同四半期比12.2%減少）、セグメント利益は87百万円（前年同四半期比6.4%増加）となりました。

#### 製造受託事業

製造受託事業は、中国市場のキャッシュレス化の影響を受け、紙幣鑑別センサモジュールの販売が減少傾向にありますが、大型の診断システム機器の受託開発案件を獲得したことが寄与し、セグメント利益は前年同四半期並みを確保しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は584百万円（前年同四半期比9.5%減少）、セグメント利益は84百万円（前年同四半期比1.6%減少）となりました。

#### 開発受託事業

開発受託事業は、子会社のユビテックソリューションズにおいて、既存の開発案件減少の影響はいまだあるものの、大型の受託開発案件の検収が完了したことにより、売上高、セグメント利益とも前年同四半期並みまで回復しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は412百万円（前年同四半期比1.8%減少）、セグメント利益は57百万円（前年同四半期比0.4%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,665百万円となり、前連結会計年度末から72百万円減少しております。主な内容としましては、受取手形及び売掛金が30百万円、製品が39百万円、原材料及び貯蔵品が9百万円増加し、現金及び預金が190百万円減少しております。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は357百万円となり、前連結会計年度末から119百万円減少しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が38百万円、電子記録債務が49百万円、未払金が18百万円減少しております。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,307百万円となり、前連結会計年度末から46百万円増加しております。主な内容としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益86百万円の計上、剰余金の配当44百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の連結業績予想につきましては、2018年8月10日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,877,213	2,687,202
受取手形及び売掛金	478,081	509,077
電子記録債権	29,376	22,569
製品	57,925	97,507
仕掛品	5,234	5,196
原材料及び貯蔵品	55,633	64,910
その他	22,637	19,864
貸倒引当金	△577	△978
流動資産合計	3,525,524	3,405,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	65,217	65,217
減価償却累計額	△14,610	△17,839
建物及び構築物(純額)	50,606	47,377
工具、器具及び備品	186,766	195,156
減価償却累計額	△152,993	△163,460
工具、器具及び備品(純額)	33,773	31,696
建設仮勘定	910	1,660
有形固定資産合計	85,290	80,734
無形固定資産		
その他	56,695	120,835
無形固定資産合計	56,695	120,835
投資その他の資産		
繰延税金資産	23,024	14,054
その他	47,561	44,325
投資その他の資産合計	70,586	58,380
固定資産合計	212,573	259,949
資産合計	3,738,097	3,665,300

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,767	78,254
電子記録債務	186,445	136,720
未払金	35,498	17,386
未払法人税等	21,217	14,190
賞与引当金	2,204	7,715
製品保証引当金	—	3,332
関係会社整理損失引当金	5,132	—
その他	49,748	39,165
流動負債合計	417,013	296,764
固定負債		
株式給付引当金	33,506	38,683
退職給付に係る負債	26,729	22,339
固定負債合計	60,235	61,023
負債合計	477,249	357,787
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	941,079	941,473
資本剰余金	654,981	655,375
利益剰余金	1,679,012	1,721,034
自己株式	△56,676	△56,641
株主資本合計	3,218,396	3,261,241
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,326	—
その他の包括利益累計額合計	△2,326	—
新株予約権	15,064	14,876
非支配株主持分	29,713	31,394
純資産合計	3,260,848	3,307,512
負債純資産合計	3,738,097	3,665,300

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	1,579,699	1,447,895
売上原価	1,240,941	1,091,418
売上総利益	338,757	356,477
販売費及び一般管理費	225,119	237,051
営業利益	113,637	119,425
営業外収益		
受取利息	298	273
投資事業組合運用益	929	—
生命保険配当金	380	387
その他	632	254
営業外収益合計	2,241	915
営業外費用		
為替差損	71	27
株式交付費	156	5
その他	147	6
営業外費用合計	375	39
経常利益	115,503	120,302
特別利益		
新株予約権戻入益	28,270	—
受取保険金	—	1,549
特別利益合計	28,270	1,549
特別損失		
関係会社整理損失引当金繰入額	4,577	—
特別損失合計	4,577	—
税金等調整前四半期純利益	139,196	121,851
法人税、住民税及び事業税	24,400	24,809
法人税等調整額	△1,892	8,970
法人税等合計	22,508	33,780
四半期純利益	116,687	88,071
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,251	1,680
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,436	86,390



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	116,687	88,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△546	—
為替換算調整勘定	69	2,448
その他の包括利益合計	△477	2,448
四半期包括利益	116,210	90,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,955	88,717
非支配株主に係る四半期包括利益	1,255	1,802

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	513,136	645,929	420,633	1,579,699	—	1,579,699
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	513,136	645,929	420,633	1,579,699	—	1,579,699
セグメント利益	82,468	85,737	57,607	225,814	△112,176	113,637

(注) 1. セグメント利益の調整額△112,176千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△112,176千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I o T事業	製造受託事業	開発受託事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	450,277	584,677	412,940	1,447,895	—	1,447,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	450,277	584,677	412,940	1,447,895	—	1,447,895
セグメント利益	87,779	84,339	57,399	229,518	△110,092	119,425

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,092千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,092千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。